

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	7人	人	20人

前回の改善計画	●家族との関わりの中でフェイスシートを活用して、より詳しく情報を得てケアに活かす。 ●サービス担当者会議の会議録などで、ニーズやケアプランのサービス内容などを確認していく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	●フェイスシートは家族だけでなく担当ケアマネがいる場合には情報提供を依頼して出来ている。 ●ケアプラン更新は担当ケアマネにて出来ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5人	11人	5人	2人	23人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		18人	5人		23人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	8人	10人	5人		23人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5人	9人	8人	1人	23人

できている点	・月1回のミーティングや毎日の申し送り・終礼等で情報収集ができている。 ・プランを通して本人のニーズを理解し、ケアに生かすことができています。 ・表情をみながら声掛けをして、必要としているニーズをコミュニケーションを通じてくみ取ることができた。
--------	--

できていない点	・介護者やご家族様との交流が少ないため、関係作りがあまりできていない。 ・ご利用者様の情報が乏しく、十分なアセスメントが取れなかったことがある。 ・本人のニーズを拾いきれているのか、希望に沿った援助ができているのか不安なところがある。 ・コロナ過でご利用者様本人とご家族様が面会できていない時期が長く、ご家族様と直接会って会話することができなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・今後接する機会が増えれば、積極的に関係作りに取り組んでいく。 ・外国人労働者のスタッフもいる為、日本語の勉強不足により、ご利用者様のニーズをうまく記録する事ができず情報共有が難しかった。情報共有をするためにフェイスシートやアセスメントシートをより一層活用していく。
---------------	--

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	6人	人	19人

前回の改善計画	●ケアプラン等で目標を理解し、本人の出来ること(強み)を引き出せるよう関わっていく。 ●本人のニーズをしっかりと知り、サービス提供に繋げる。 ●本人の目標をしっかりとスタッフ間で共有し、決まったサービスだけでなく、その日のその時のニーズに合わせながら目標に近づけるようなサービス提供に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	●全職員へ周知し、ミーティング等でも更新状況の確認をしている。 ●基本もニーズだけでなく日々の変化にも情報共有してリアルタイムで対応している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4人	12人	6人	1人	23人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2人	19人	1人	1人	23人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		13人	9人	1人	23人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4人	10人	7人	2人	23人

できている点	・終礼やミーティングで利用者様の状態に応じた対応や、目標に向かったプランニング・評価を繰り返し行っている。 ・長期・短期目標を把握することに努めており、気づいたことはミーティングに上げている。 ・認知症の利用者様がほとんどであるため、まずは、安心安全に取り組み、他、会話の中で興味を引出し、レクなど通して支援できた。
--------	--

できていない点	・認知症の利用者様が多いため、本当にしたい事なのか、ニーズがあっているのか不安なことがある。 ・日々の関わりのなかで、一辺倒的な関わり方になってしまうことがある。 ・スタッフの中には目標を理解できていない人もいて、ケアをする利用者様に偏りが出てしまう時があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・認知症の方だと本人の思いだけでは不十分であるため、ご家族様との関わりを月1回の面談等で密にとっていく。 ・個別に向き合う時間の確保がなかなか難しい。よって、日常的にコミュニケーションが図れるようかかわっていく。 ・目標も知らず自分の考えで～してあげればいいと思った介護になっていた。利用者様の目標に対する認識にも偏りが出ていたため、全体の把握に取り組む必要がある。ご本人の～したいが実現できるように、引き続き終礼やミーティングで定期的に意見交換できる機会を増やし、利用者様の状態に応じて、目標に向かって評価を繰り返し行っていく。
---------------	---

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11人	5人	1人	17人

前回の改善計画	●利用者様の生活の背景をしっかりと理解する。 ●本人のニーズをしっかりと把握することで、サービス提供の方法も変わってくるため、今現在のニーズを会話などを通してながら知り、相手の立場になって考え、質の良いサービス提供に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	●利用開始日前にフェイスシート等にて今までの生活を把握してケアに反映している。 ●ニーズを理解した上で毎日の終礼等で課題を汲み取り、より現在の状況に合わせたケアを行っている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2人	17人	4人	23人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9人	10人	4人		23人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3人	9人	10人	1人	23人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8人	13人	2人		23人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	5人	14人	4人		23人

できている点	・利用者様の食事・排泄・入浴は日々評価をしたうえで、本人のできる能力を生かし介助を行うようにしている。 ・利用者様の気持ちに寄り添い、ケアを行うことができています。 ・体調の変化に気づき、終礼や申し送りミーティング等で共有して対応し、記録をこまめに書くように心がけている。
--------	--

できていない点	・日常生活支援の際、業務多忙から本人の意向に沿ったケアが不十分なことがあった。 ・アセスメント不足により、以前の暮らしは把握不十分で、直近のことを把握することにとどまっている。そのため、本人が自分らしい暮らしができていないのか不安に感じることがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・以前の暮らし背景の情報が乏しいため、自分らしい暮らしの提供ができていないように感じる。以前の暮らし方を把握するため、個別対応時間を設け、1日スケジュールの中に組み込み対応していく。 例) 午後の自由時間13時~14時を利用して、利用者様1人1人と個別ケアで、会話の中から本人のニーズを見つけ、記録に残し、モニタリングを定期的に行い、ケアプランへとつなげていく。
---------------	--

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	11人	3人	19人

前回の改善計画	●本人の背景等を理解し、相手の立場になって考え、本人に合わせたサービスを提供する。 ●本人にとって家族や地域との関わりが必要なことを理解し、必要なサービス提供に努める。また、関わりたくないという思いがあるのであれば、意思を尊重する関わり方をしていく。 ●民生委員、地域資源をしっかりと理解し、必要な場合は提供できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	●買い物や近所のカフェに出掛けたり、地域のボランティアの方を呼んでイベントを実施するなど地域との関りを持っている。 ●隣接する障害者就労施設との交流を実施している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	10人	10人	2人	23人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうように支援していますか?	1人	7人	13人	2人	23人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	9人	11人	1人	23人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6人	13人	4人	23人

できている点	・コロナ状況下であり積極的に取り組めなかったが、ご家族様やご友人様へ電話を通じて関わりを持つ配慮を行った。 ・運営推進会議やイベントを通じて、積極的に取り組めなかったものの、情報交換はできた。 ・デッキイベントの企画及び参加 ・地域のイベント：諏訪駅伝への参加
--------	---

できていない点	・現在の人間関係等の理解にとどまっており、地域での暮らしぶりや、これからどのように暮らしたいと考えているか、十分に把握できていない。 ・コロナの影響もあり、家族や地域との関わり支援が積極的に出来なかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・コロナの影響でご本人を取り巻くご家族やご近所の方、ご友人との関わりが減ったため、その存在を把握していく。そのために、直接関われる交流会を考える。 ・地域とのかわり方がわからなかった為、まずは地域の行事を把握し、積極的にイベント活動に参加できるように地域との連携を図っていく。 ・ひまわりデッキへのご家族の誘引 ・障害者施設との連携
---------------	---

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11人	7人	人	18人

前回の改善計画	●地域資源にどのようなものがあるのかを知り、支援に繋がれるようにする。 ●本人の意思、ニーズを聞き、地域資源を活用するなど柔軟な支援に努める。
前回の改善計画に対する取り組み結果	●通所サービスでは他者との交流や機能訓練を実施、訪問では1人暮らしなので家事全般をサポートしている。 ●また在宅の利用者様については体調不良などで在宅での生活が困難な場合一時的な泊りサービスを提供している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		12人	9人	2人	23人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4人	14人	5人		23人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3人	16人	4人		23人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4人	16人	3人		23人

できている点	・毎日の終礼やミーティングにより、ご本人の状態、ニーズに合わせた支援の情報共有ができています。 ・在宅や機能維持向上のために、自立支援を促しながら関わっている。
--------	---

できていない点	・身体の変化や気持ちの変化に気づき、通所や訪問サービスを柔軟に対応できなかったこともあった。 ・ご本人の希望とは別に、ご家族様の都合で利用するケースもあった。 ・ご利用者様の希望と必要性に合わせ、スタッフの勤務調整がうまくいかず、宿泊サービスのニーズに答えられないケースもあった。 ・地域資源の活用という点を職員が意識していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・柔軟な支援や対応に差が出ないよう職員が統一してケアが出来るように終礼やミーティング等で得た情報を確認する。 ・職員全員が関心を持ち理解を深められるように、地域の社会資源を確認する。
---------------	--

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
6. 連携・協働	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	10人	4人	19人

前回の改善計画	●地域の各種機関、団体の活動やイベントを把握し、積極的に参加できるようにする。 ●医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所との会議や、自治体・包括支援センターとの会議について、自分で出席しなかった際には、会議出席者からの議事録をきちんと確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	●隣接する障害者就労施設との交流や地域ボランティアのイベント活動を設けている。 ●提携している各事業所とは小まめな連絡を取り、定期的な会議等以外にも必要に応じて相談に応じていただいている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	1人	4人	8人	10人	23人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		4人	6人	13人	23人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	2人	3人	6人	12人	23人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4人	2人	7人	10人	23人

できている点	・諏訪デッキイベントや内覧会イベントの際、近隣の方や家族が事業所を訪れている。 ・地域活動の諏訪マラソンの参加 ・共生型を目指しているため、障害の方の実習などに取り組んでいる。
--------	--

できていない点	・コロナの影響もあり、会議に積極的に参加していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・地域の福祉・介護を高めていくために、他事業所との連携を図っていく。 ・地域との連携強化するために、地域の活動の情報収集を行い、参加計画を立てる。
---------------	--

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
7. 運営	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	6人	4人	17人

前回の改善計画	●意見を言うことの必要性を理解し、主体的に発言、行動できるようにする。 ●地域にとって必要とされる事業所になるためにどのようなことが必要なのかを理解する。 ●利用者、家族、介護者からの意見がどのようなことがあるのかをミーティング等でしっかり周知、理解し、地域と協働した取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取り組み結果	●毎日のミーティングでは現場の意見を出して常にサービスの改善に取り組んでいる。また、外部からも運営推進会議からの

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2人	5人	12人	4人	23人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	8人	10人	2人	23人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	6人	6人	9人	23人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2人	6人	7人	8人	23人

できている点	・「すわひまわりデッキ」がオープンして、地域の高齢者・障害者・子供達との交流を積極的に行い、事業所についての情報を発信している。 ・施設内の気づいた点はスタッフ間で提案する事ができている。
--------	---

できていない点	・地域との関わりや、運営推進会議に出ることもなかったため、利用者の家族や地域の方からの意見を聞く機会がなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・コロナのこともあり、積極的に地域との協働した取り組みができなかったもので、今後活動していきたい。
---------------	---

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	5人	人	18人

前回の改善計画	●積極的にスキルアップに努め、質の良いサービス提供をしていく。 ●事故やヒヤリハットであげられた件について、引継ぎや会議で検討することは継続し、危険予知に対する意識を高めるために、会議等で臨時研修開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	●毎月の社内研修や事業所内研修の実施、社内から個別にも研修案内を出して必要なスキル習得を応援している。 ●事故やヒヤリハットが発生した時は連携事業所にも報告して今後の改善に向けて検討・改善策を実施できた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6人	9人	7人	1人	23人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6人	9人	7人	1人	23人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	1人	8人	13人	23人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	13人	5人	1人	23人

できている点	・気づいたことや失敗したことは報告書としてあげて、再発防止に取り組んでいる。 ・スキルアップのための取り組みとして、研修に積極的に参加できている。
--------	--

できていない点	・ヒヤリハットの記録が少ないように感じる。 ・予測されるリスクへの感心があまりないように感じる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・勤務調整も考え、多くの研修に参加しスキルアップに努める。 ・ヒヤリハットから再発防止や大きな事故を未然に防ぐことができる為、予測されるリスクへ感心をもち、積極的にカンファレンス等で話し合いを設け実践していく。
---------------	--

令和6年度 事業所自己評価	実施日	令和 6年 11月 20日 (12:30~13:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	助川・滝田・長山・上村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	3人	2人	19人

前回の改善計画

- 本人の意思を尊重し、サービス提供の際は、プライバシーに留意した関わり方、援助をする。
- 身体拘束の中にスピーチロックが含まれるため、スピーチロックについて再度確認、理解し、予防策をして、相手の立ち場に立った言い換え表現等を学び、意識するようにする。
- 成年後見制度の内容、必要性の理解に努め、必要な方に活用できるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 介助中の利用者本人への配慮だけでなく、その周りの利用者へのプライバシー配慮もできていた。
- 利用者の体調面だけでなく気分などの精神面にも配慮して毎日のサービスの内容を検討できている。
- 場合によっては介助等を待ってもらう事があるが、その場合には明確な理由を伝えて利用者に理解してもらい対応することができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	18人	4人	1人		23人
②	虐待は行われていない	18人	3人	1人	1人	23人
③	プライバシーが守られている	18人	4人	1人		23人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9人	4人	5人	5人	23人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	14人	7人	1人	1人	23人

できている点

- ・研修を通して適切なケアについて学び、身体拘束や不適切なケアにならないように取り組んでいる。
- ・利用者様の人権やプライバシーを守りケアにあたることは、意識して関わっている。

できていない点

- ・写真の取り扱いについては、注意を払っていかなければならない。
- ・個人情報の管理について、本人や家族への説明を行い、同意は得ているが不十分である。
- ・複数の利用者様がいる空間で、職員同士で利用者個人の話をしてしまったことがある。

次回までの具体的な改善計画

- ・携帯やタブレットで写真を撮影しSNS等で共有する場合があるが、個人情報の取扱い方に注意する。(ルールをつくる)
- ・定期的に研修を行い、スタッフ自身のケアを振り返る機会をつくる。